

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 9 日 (2017.3.9)

【公開番号】特開 2016-119498 (P2016-119498A)

【公開日】平成 28 年 6 月 30 日 (2016.6.30)

【年通号数】公開・登録公報 2016-039

【出願番号】特願 2014-256169 (P2014-256169)

【国際特許分類】

H 0 4 B 7/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 31 日 (2017.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

第一の送信乗算器 5 の出力の第二の分岐は更に二分岐され、ひとつの分岐は第二の送信搬送波周波数発生回路 5 6 の出力（周波数： f_2 （ $< f_1$ または $> f_1$ ））と第七の送信乗算器 5 1 により掛け合わされてその結果が送信加算器 1 5 の第二の入力となり、他方の分岐には第二の送信搬送波周波数発生回路 5 6 の出力が 90 度移相器 5 9 を介して第八の送信乗算器 5 2 により掛け合わされてその結果が送信減算器 5 5 の第二の入力となる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

ハイブリッド回路 6 9 の第一の出力は第一の送信アンテナ 1 と結合し、ハイブリッド回路 6 9 の第二の出力は、第一の送信アンテナ 1 と空間的に直交する第二の送信アンテナ 2 と結合する。第一および第二の送信アンテナ 1, 2 は、二つの搬送波周波数（ f_1, f_2 ）の差の半分の周波数で回転する偏波を有する電磁波を空間に放射する。なお、偏波の実効的な搬送周波数（ f_c ）は、二つの搬送波周波数（ f_1, f_2 ）の和の半分の周波数である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

なお、本実施例 8 においては、図 8 に示すように、アンテナ（1, 2）、加算器 7 4、および減算器 8 3 を除く回路部分が、FPGA（Field Programmable Gate Array）に実装されているが、実装形態はこれに限るものではない。